

2021年6月7日

イベント学会 イベント産業におけるSDGs推進研究会
設立趣意書

(発起人代表)

理事・西日本地域副本部長 信時正人

(発起人)

会員・西日本地域副本部長 川井徳子

理事・中部地域副本部長 古澤礼太

会員 田村 匡

会員 森 由香

理事・副事務局長 守屋慎一郎

1、趣旨

2030年を目標年とするSDGs（持続可能な開発目標）は、「だれひとり取り残さない」ことを理念に、「これまでの延長線上にない大胆な変革」を求め、多分野に広がりつつある。

イベント学会においても、中部地域本部で「SDGs夜カフェ」が継続的に開催され、SDGsの達成に取り組む多様なステークホルダーによる対話が推進されているほか、西日本地域本部では、2025年の大阪・関西万博にSDGsの達成に向けた個人の行動変容を促すイベントを導入することについて研究が始まろうとしている。

こうしたSDGsムーブメントの拡大を踏まえつつ、イベント産業界がより積極的にSDGsの達成に取り組むための新たな個別テーマ研究会を設立することを提起したい。

一般社団法人イベント産業振興協会の調査によると、2020年は新型コロナウイルスの影響により半減が予想されるものの、2019年の我が国のイベント産業規模は娯楽・エンターテインメント等の周辺産業を含めると2兆5,511億円に到達している。いまやイベント産業は、現代日本社会において極めて大きな位置と責任を有している。

またイベント学会は「思想家、研究者、実務家、技術者、表現者など、イベントを具現化する多様な人材の知見を集積、交流、統合し、イベントの本質的価値を探究するとともに、具体的な提案活動を行う」学術団体として活動している。そのイベント学会がイニシアチブを発揮し、SDGsの理念と具体目標を踏まえつつ、イベント産業の持続可能性を高めるための研究を行うことには大きな意義があるものと考えられる。

こうした背景を踏まえ、イベント産業とSDGsの関係を総合的に検証し、SDGs達成に貢献するイベントの開催を促進するとともに、イベントの制作運営過程のSDGs化（持続可能化）に貢献する、新たな個別テーマ研究会を組成することを提言する。

(2) 研究内容（素案）

①上位計画の研究（文献調査）

SDGs に関する国連、日本政府、経産省等による上位計画の研究

- ・ SDGs アジェンダ（2015 年、国連総会）
- ・ SDGs 経営ガイド（2019 年、経済産業省）
- ・ SDGs アクションプラン 2021（2021 年、日本政府 SDGs 推進本部）

②グッドプラクティスの収集（事例調査）

SDGs の理念、目標に則して優れた取り組みを行なっているイベントの事例収集

- ・ SDGs の達成を目的に掲げ、特筆すべき成果をあげているイベント
- ・ イベントの制作、運営過程において、SDGs の達成に貢献する具体的イノベーションが実現されているもの
- ・ SDGs 経営（環境への配慮、ジェンダー平等、障害者雇用など）を積極的に取り入れているイベント事業者（企業、団体）など

③イベント産業版 SDGs ガイドラインの作成（政策提言）

イベントの制作、運営に関わる事業者が準拠すべきガイドラインを作成する。同ガイドラインを応用し、認証制度などを設計することで、入札時の評価基準への導入、ESG 投資の呼び込みなどにつなげることを目標とする。

(3) 推進体制

イベント学会個人会員から参加者を募るとともに、一般社団法人イベント産業振興協会との共同研究とし、イベント産業界を牽引しているリーディングカンパニーによる参加および賛助（研究資金の提供）を呼びかける。

認証制度が実現する場合には、同協会が認証の主体となることを想定するほか、同協会が主催開催している「イベントアワード」に「SDGs 特別賞」を新設し、優れた取り組みを顕彰していただくことも検討したい。

あわせて、大阪・関西万博との連携も検討する。

(4) 研究会参加者の募集および第 1 回研究会の開催

本研究会に参加する会員を募集するとともに、第 1 回研究会を 7 月 5 日（月）16:00 から開催する。開催方式（リアルサイト or オンライン等）については今後決定する。

議題はグッドプラクティスの収集に向けた事例の相互紹介と事例収集フォーマットの検討とする。参加希望の方は事務局（森由香：mori@ludens.be）までご連絡ください。

以上